

真一郎 News



三次市議会議員 山田真一郎 市政報告 第3号 令和3年12月発行

八次地区公園整備事業 について

目 的

近隣にお住まいの方に、安らぎと安心できる場所を提供する

経 緯

広さを確保するため隣接地を購入し、地主の方が土地を寄付。

その方の想いを公園という形で実現。

普段は地域の公園として利用し、災害時には避難場所として使用することが出来る。

特 徴

平成30年の豪雨の際、浸水被害があったことを経験に公園の高さを県道434号和知三次線の高さと同じにすることで公園内への浸水を防ぎ避難場所としての役割が期待できる。

また、公園の敷地の一部に透水層を設け、雨水を地下へ浸透させる機能を持つ。公園は、「かまどベンチ」を有し、災害時にはベンチを「かまど」として使用し、炊き出しや暖を取ることが出来、多岐にわたる活用が可能となる。駐車スペースも災害時には10台以上の避難が出来る。

公園前の道路を広くする工事はありますが、**公園は利用可能**です。(令和4年秋頃に完成予定)



公園全体



貯水場所



かまどベンチ



かまどベンチの裏側

〒728-0006 三次市畠敷町134番地
ホームページ▶ <http://shinichiro-yamada.com>
Email▶ shinichiro_yamada@titan.ocn.ne.jp

電話：(0824) 53-1850
FAX：(0824) 53-1855
発行者：三創会

太歳神社(広場)トイレ について



トイレの必要性

- 三次もののけミュージアムを拠点として、石畳通りや尾関山公園等のエリア内に点在する観光資源の回遊促進・来訪者の利便性向上を目的として、公衆トイレを設置することとしている。
- 石畳通り（三次本通り～上市・太才通り）付近には、公衆トイレは全部で5箇所あるが、上市・太才通り側に限れば1箇所と非常に少ない。

経緯

- 太歳神社関係者や近隣の住民の方から、トイレ設置について以前から要望があった。
- 昨年度、三次地区自治連合会、歴みち協議会、太歳神社関係者と協議を行い、太歳神社内へのトイレ設置について協議した。

事業及び予算

事業：三次町歴史的地区環境整備事業
交付金：社会資本整備総合交付金事業
（街なみ環境整備事業）1/2助成

その他

設置後の維持管理費：100千円/年
（障害者就労施設に発注を想定）
※障害者優先調達推進法に基づき、障害者就労施設に優先的に業務を依頼する

■太歳神社広場整備契約一覧

契約年度	契約名	始期	後期	契約額
H30	太歳神社トイレ設計業務委託	平成31年2月14日	令和元年12月16日	4,442,927円
R元	太歳神社広場整備工事監理業務委託	令和2年2月28日	令和2年12月25日	2,695,000円
R元	太歳神社広場整備工事	令和2年2月6日	令和2年12月25日	22,292,600円
合 計				29,430,527円

議会での討議（公衆トイレに対する費用対効果とは？）

- ・整備された公衆トイレは地元から要望があり、街の活性化や観光客が周遊の際に利用するための一環として建てられた。
- ・三次町出身のデザイナーが設計しておりアートな作品として町の賑わいや観光のランドマークとして建てられた。
- ・通常の公衆トイレに比べ利便性が悪く使いづらい。…など様々な意見があがりました。

【議会で出たトイレの問題点】

- ・便器が2つしかなく男女兼用であり障害者用トイレがない
- ・冬場は凍結し水が出ない
- ・手すり、物置、鏡がない
- ・扉が重く子どもや女性、障害のある方が開けにくい

★太歳神社（広場）トイレ

